北九州市水道事業基本計画素案

に対する提言

平成１７年１２月

北九州市水道事業基本計画検討委員会

１　運営体制について

水道は、お客さまの生活や社会経済活動を支える重要なライフラインである。したがって、その事業の効率的な運営については、不断の努力が求められているとともに、極めて高い公共性を有しているため、今後も公営を維持していくこと。

２　基本計画の策定趣旨および位置付けについて

基本計画の策定趣旨については、今後、水道事業の再構築の時代に入り、さらに一歩進んだ新たな水道事業の展開を明確にすること。

３　今後の水道事業の基本理念と施策目標について

3-1　施策目標について

○　施策目標は、
水道法の基本である「安全」「安定」「低廉」の三原則に対応する
・お客さまが安心しておいしく飲める水道
・いつでも安定して供給できる水道
・安価な料金を維持する水道
の順とし、これを含め６つの施策目標とすること。

○　お客さまの視点に立った事業運営について

利用者ニーズを十分に踏まえた事業展開に努め、「お客さまの視点に立った」事業運営というスタンスで、今後の事業展開を図ること。

４　目標の実現に向けた今後の重点施策について

4-1　目標１【お客さまが安心しておいしく飲める水道】について

○　本施策目標については、水道水の「安心（安全）」の確保に向けた施策を基本として、事業に取り組むこととし、そのうえで、異臭味のない水の供給、貯水槽水道対策等「おいしく飲める」水の供給にも努めること。

　また、水道水の安全性を確保し、積極的なＰＲを図ること。

○　「施策 1-1　水源水質の汚濁防止の推進」については、取り組み活動をより積極的にすること。

　併せて遠賀川の水質汚濁防止に向けた取り組みについては、流域市町の下水道普及が進まない点について、国・県へ今後強く要望を行うこと。

○　「施策 1-4　貯水槽水道対策」については、本市が他都市と比較して受検率が低いことを明記し、水道事業者、利用者の双方から設置者への働きかけが可能となるような、実効性のある事業とすること。

4-2　目標２【いつでも安定して供給できる水道】について

○　市の東部・西部の水運用について、現在でも経済性を図りながら、水運用を実施していることを明確にすること。

4-3　目標３【安価な料金を維持する水道】について

○　本市水道事業の特色（水源は全て自前であり、設備投資がかかる反面、給水原価は低い等）、効率的な経営策について他都市より優れた事項については、利用者に対しもっと PR すること。

○　水道事業は、安心・安定・安価を基本とする公共性の非常に強い事業であるため、今後も現在の事業運営形態（公営）を維持しながら、より健全な経営の維持、改善に努めること。そして同時に、経営の効率化は徹底して実行していくこと。

　また、広域化の推進については、「水質管理」に限らず、北九州都市圏の中核都市として、幅を広げた取り組みを行うこと。

4-4　目標４【お客さまに親しまれる水道】について

○　インターネットを利用した手続等による利便性の向上策については、便利な仕組みが利用者に活用されるよう、利用者にとって見つけやすく、操作しやすいホームページの提供方法を行うこと。

　またホームページ等での水道事業に関する情報提供にあたっては、世代間の水道に対する知識の相違等にも配慮すること。

○　「施策 3-2　積極的な情報公開とお客さまニーズの把握」のうち「お客さまの声の集約化」については、個々のお客さまから寄せられた苦情・要望と水道局としての対応内容等について、速やかにお客さま全体に情報公開できるような仕組みを検討すること。

4-5　目標５【環境保全・省エネルギー対策を推進する水道】について

○　環境保全・省エネルギー対策の推進については、利用者に PR をかねて、説明内容をもう少し追加することとし、本市水道事業では、既に京都議定書目標値（1990 年対比で 6%削減に対し平成 16 年度末で 9%削減済）を達成していること等、これまでの取り組み内容や、今後の事業について明確にすること。

4-6　目標６【世界に貢献する水道】について

○　お客さまの理解を深めるため、各国からの要請内容に対する具体的な人材派遣の取り組み内容を PR し、今後必要となる取り組みについて明確にすること。

○　これまでに取り組んできた本市水道事業の国際貢献の得意分野も含め、より積極的な PR も内容として明確にすること。

5　今後の事業運営について

　今後の経営方針である、現行料金の維持、将来の投資に備えた資金の確保、企業債残高の減少については、方向性は良いとしても数値目標の設定など課題も残っており、次年度、本委員会における「料金体系の見直し」の審議の際に具体的な議論を行うこと。

【資料】

水道事業基本計画検討委員会名簿

氏　名	役　　職　　等	備　考
齋藤　貞之	北九州市立大学経済学部教授	委員長
菊池　裕子	九州共立大学経済学部教授	
清本　隆敏	（財）北九州上下水道協会顧問	
福地　昌能	公認会計士（福地公認会計士事務所）	副委員長
入江　壮行	㈱井筒屋　執行役員	
藤井　初信	三菱化学㈱黒崎事業所　企画管理室 企画技術グループ　グループマネージャー	
西滝　玲子	北九州市消費者問題婦人協議会理事	
本田　美智子	平成１７年度水道モニター	

水道事業基本計画検討委員会開催経過

回 数	日　　程	内　　容
第１回	平成17年 9月 1日（木）	○委員会設置 ○水道事業の現状と課題について 等
第２回	平成17年10月13日（木）	○今後の水道事業の基本理念と施策目標について ○目標の実現に向けた今後の重点施策について ・お客さまが安心しておいしく飲める水道について ・いつでも安定して供給できる水道について ・環境保全、省エネルギー対策を推進する水道について ・世界に貢献する水道について
第３回	平成17年11月17日（木）	○目標の実現に向けた今後の重点施策について ・お客さまに親しまれる水道について ・安価な料金を維持する水道について ○今後水道事業の基本理念と施策目標について ○今後の事業運営について
第４回	平成17年12月15日（木）	○基本計画素案に対する提言のまとめについて